

## 聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、すでに結果公表の手続きを完了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

① 研究課題名	胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究		
② 実施予定期間	承認後～2019年6月30日		
③ 対象患者	対象期間内に胞状奇胎（胎盤を構成する絨毛が正常に発育せずに膨らみ、ぶどうの房状になる疾患）で胞状奇胎除去術を施行された患者さん		
④ 対象期間	2014年1月1日から2016年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	産婦人科		
⑦ 研究責任者	氏名	村上 文洋	所属 産婦人科
⑧ 使用する資料等	<p>診療情報より下記事項を調査します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 年齢（初回治療開始時点）、</li> <li>2) 妊娠分娩歴、</li> <li>3) 初回治療前血中(尿中)hCG値（mIU/ML）、</li> <li>4) 初回治療年月（奇胎除去術）、</li> <li>5) 初回治療時の妊娠週数、</li> <li>6) 初回治療の施設（自施設 or 他施設）、</li> <li>7) 初回手術手技（掻爬、吸引、両者併用、その他、不明）、</li> <li>8) 病理診断（全奇胎、部分奇胎、胎児共存奇胎）、</li> <li>9) 免疫染色の有無（p57kip2、TSSC3）、</li> <li>10) DNA診断の有無、</li> <li>11) 初回治療後一週間目の血中(尿中)hCG値（mIU/ML）、</li> <li>12) 初回治療後一週間目の子宮内膜厚（mm）、</li> <li>13) 再掻爬の有無、初回治療からの日数、</li> <li>14) 再掻爬の施設（自施設 or 他施設）、</li> <li>15) 再掻爬の手術手技（掻爬、吸引、両者併用、その他、不明）、</li> <li>16) 再掻爬の病理診断（奇胎絨毛・トロホプラストの有無）、</li> <li>17) 続発症の有無、</li> <li>18) 続発症ありの場合の診断、</li> <li>19) 続発症の部位、</li> <li>20) 手術合併症の有無、合併症あり場合の詳細</li> </ol>		
⑨ 研究の概要	<p>日本産科婦人科学会「胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」が主体となり、福岡大学産婦人科教授を研究責任者とし、九州大学病院産婦人科を事務局とする多施設共同研究。</p> <p>胞状奇胎例の掻爬回数（子宮内容除去術を行った回数）と続発症（ある疾患を原因として、別の疾患が発症すること）の頻度を後方視的に調査し、解析する。</p>		

⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2018年 6月 8日
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。	
⑫ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします	
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定する情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。	
⑭ 知的財産権	当院には属しません	
⑮ 研究の資金源	なし	
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません	
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリア病院 産婦人科 村上 文洋	
	電話	0942-35-332